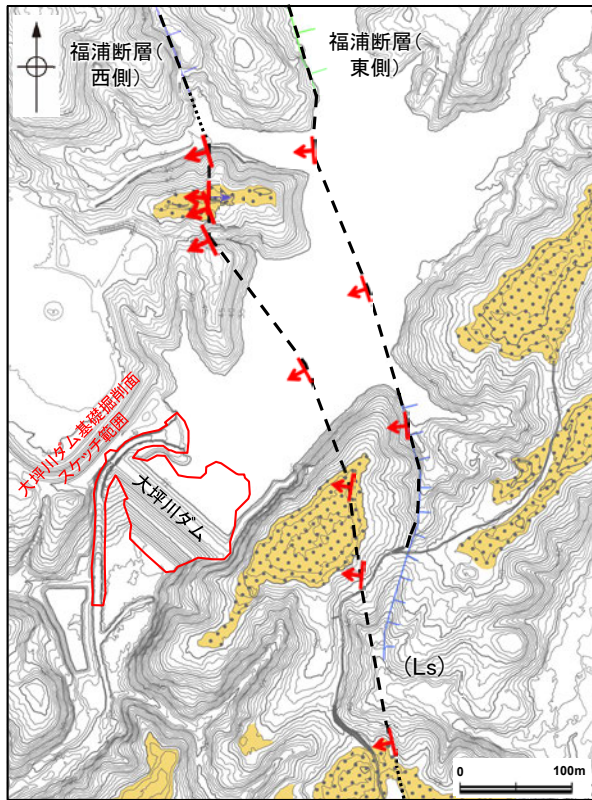
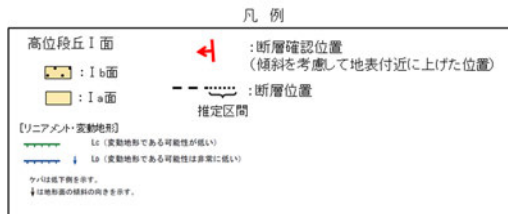


# 【大坪川ダム基礎掘削面 地質観察結果(トレース図)】

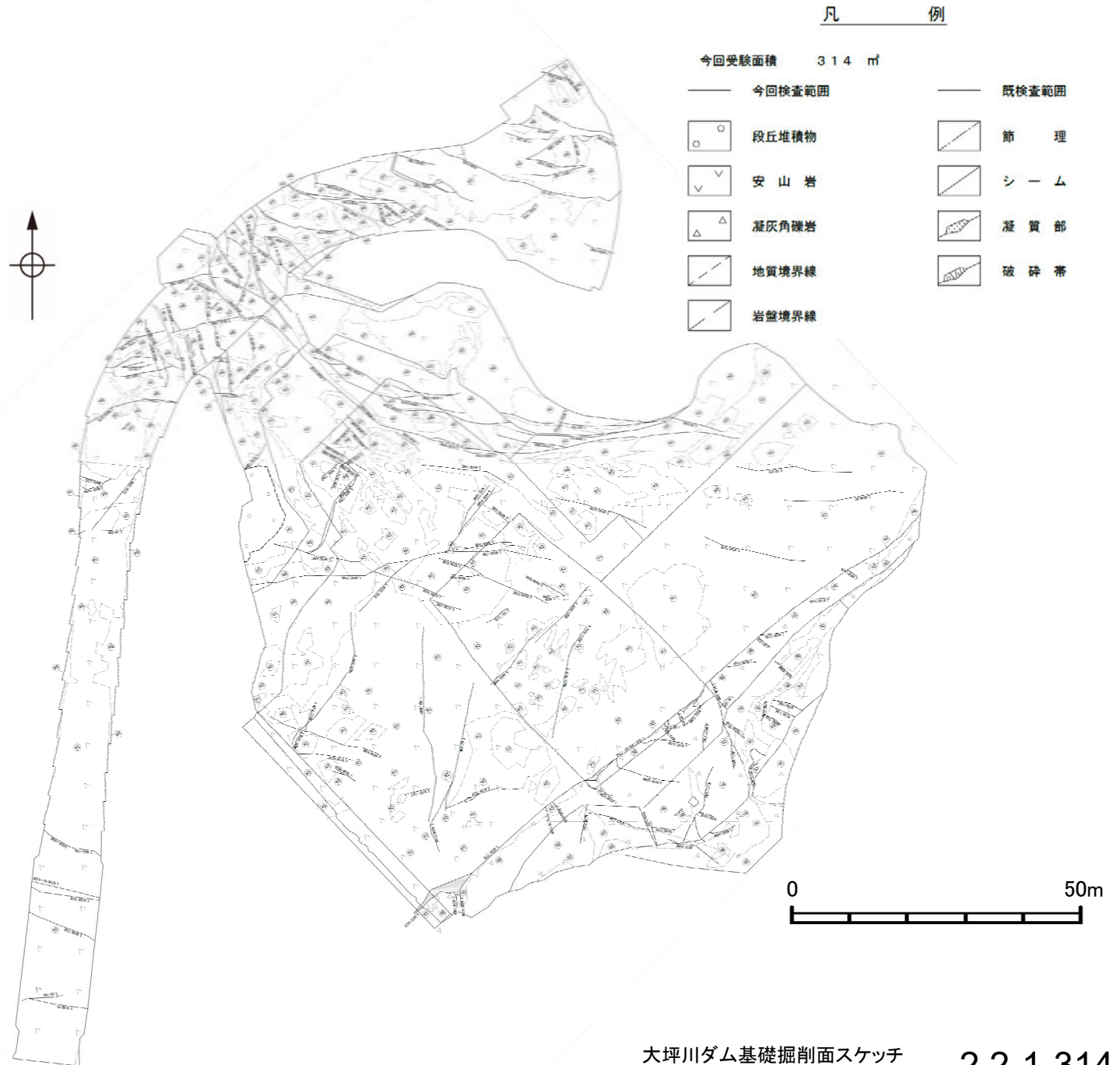


大坪川ダム基礎掘削面 位置図



## 凡例

今回受験面積 314 m<sup>2</sup>



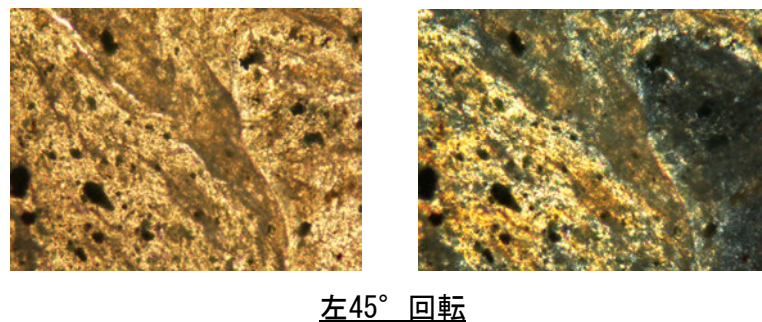
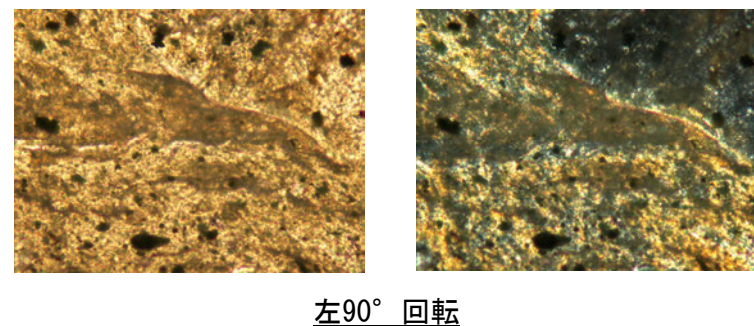
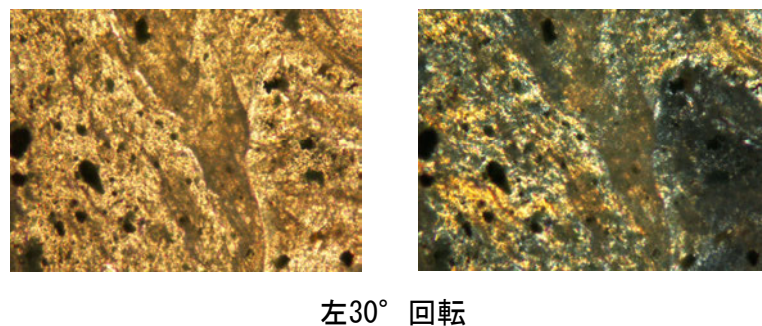
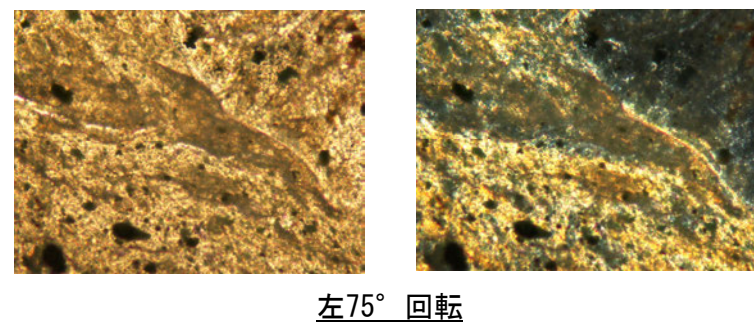
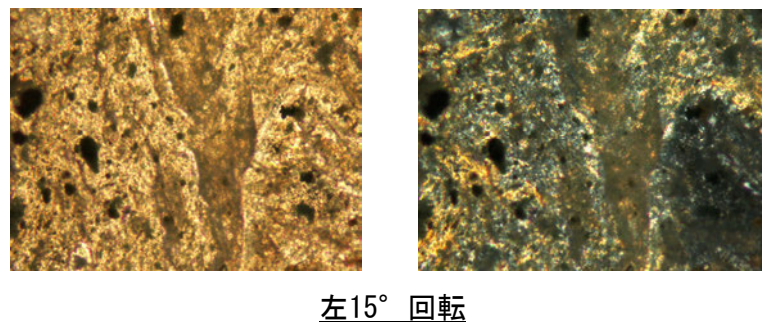
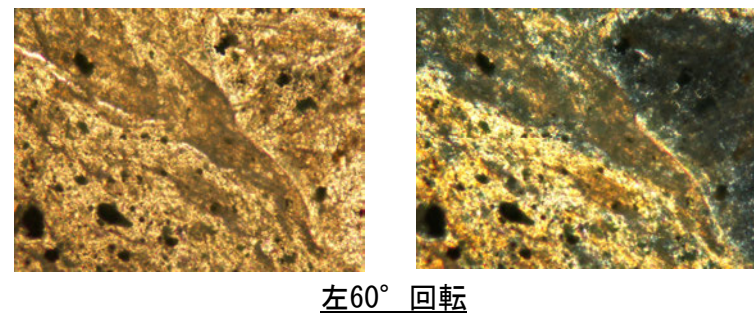
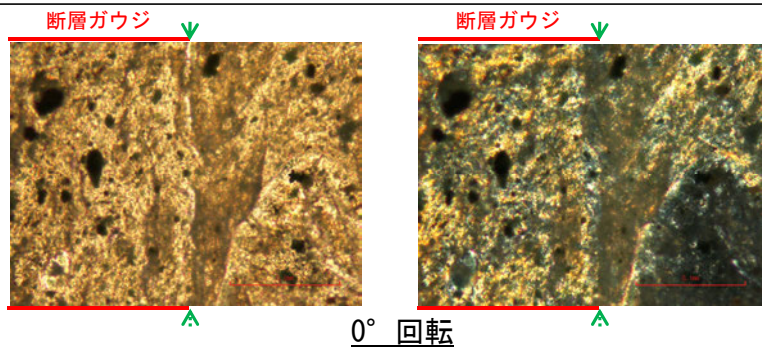
---

## (14)-2 薄片觀察



# OS-7 薄片② - ステージ回転写真1/2 -

○薄片写真を15° 刻みでステージ回転させたものを以下に示す。



→ ← Y面

1mm

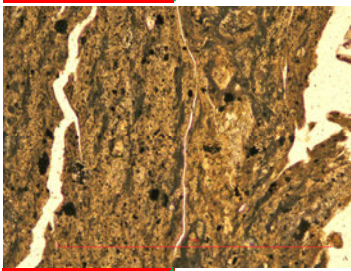
←… : 延長位置



# OS-7 薄片② - ステージ回転写真2/2 -

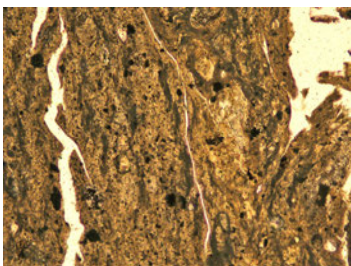
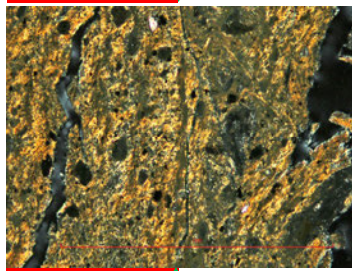
○薄片写真を15° 刻みでステージ回転させたものを以下に示す。

断層ガウジ ↓

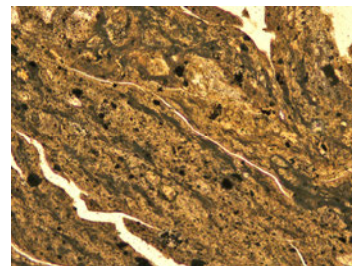
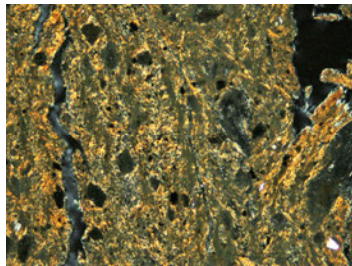


0° 回転

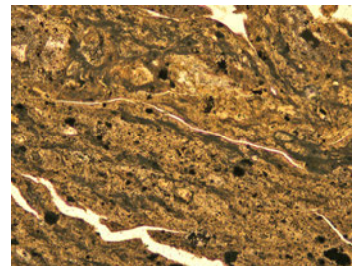
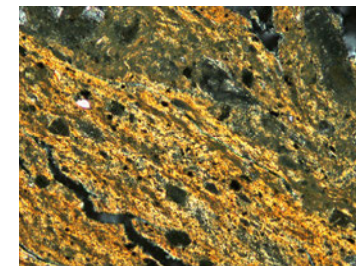
断層ガウジ ↓



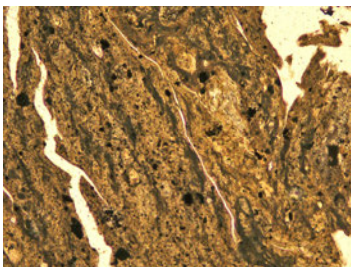
左15° 回転



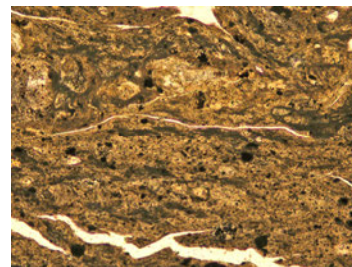
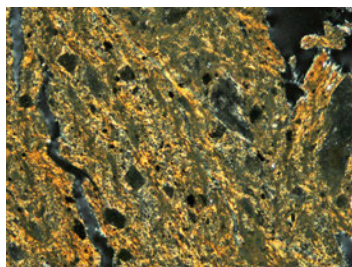
左60° 回転



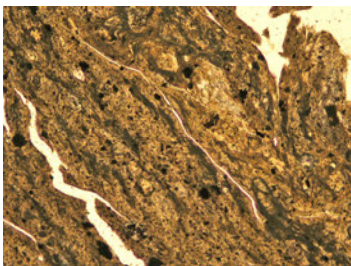
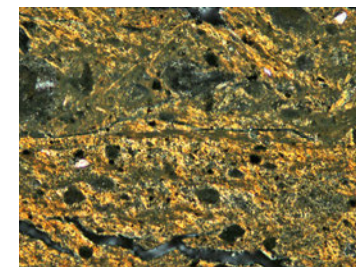
左75° 回転



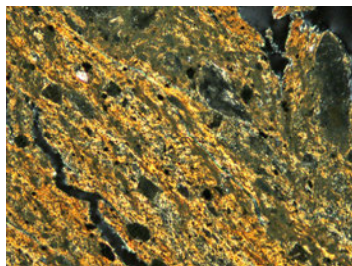
左30° 回転



左90° 回転



左45° 回転



→ ← Y面

1mm

←… : 延長位置

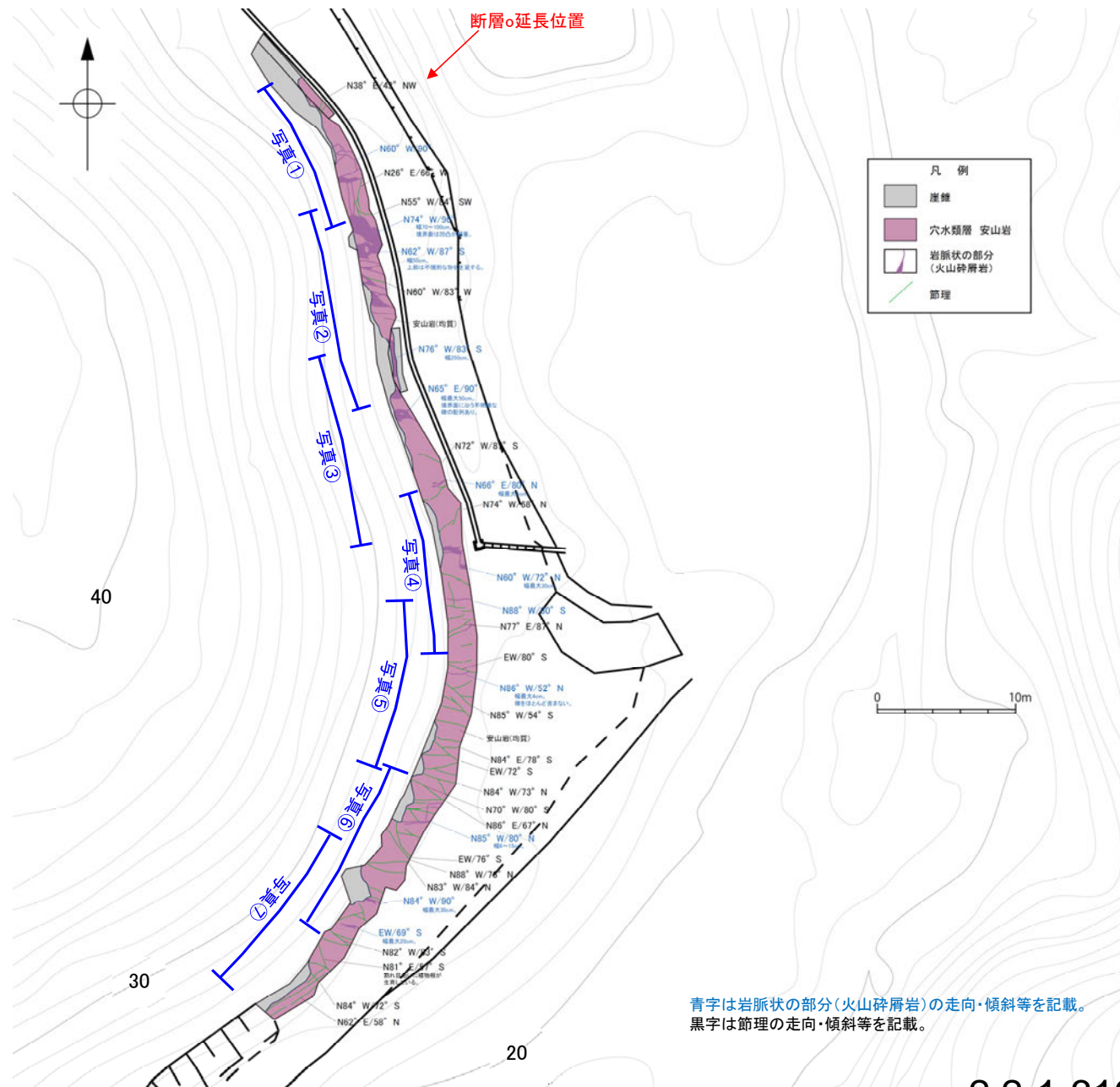
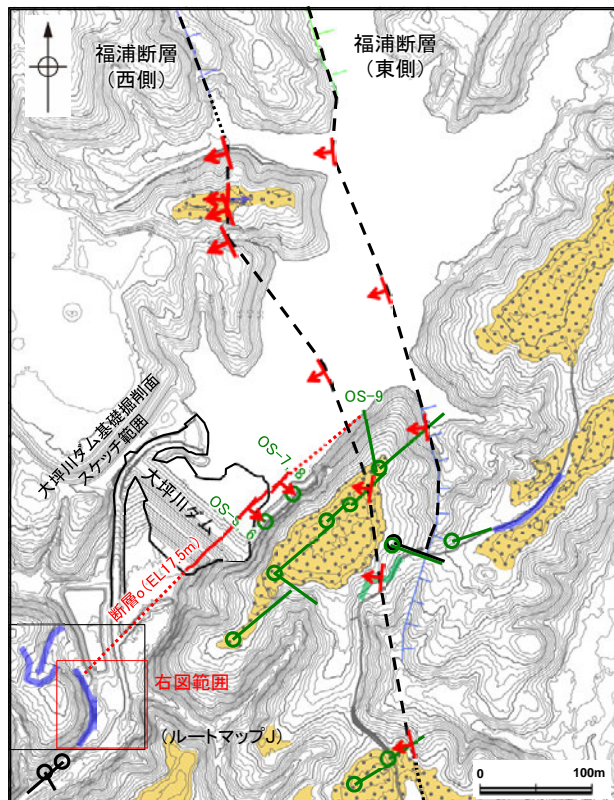


---

(14)-3 断層の南方延長 表土はぎ調査(ルートマップJ)

# 断層の南方延長 表土はぎ調査(ルートマップJ) 写真位置図

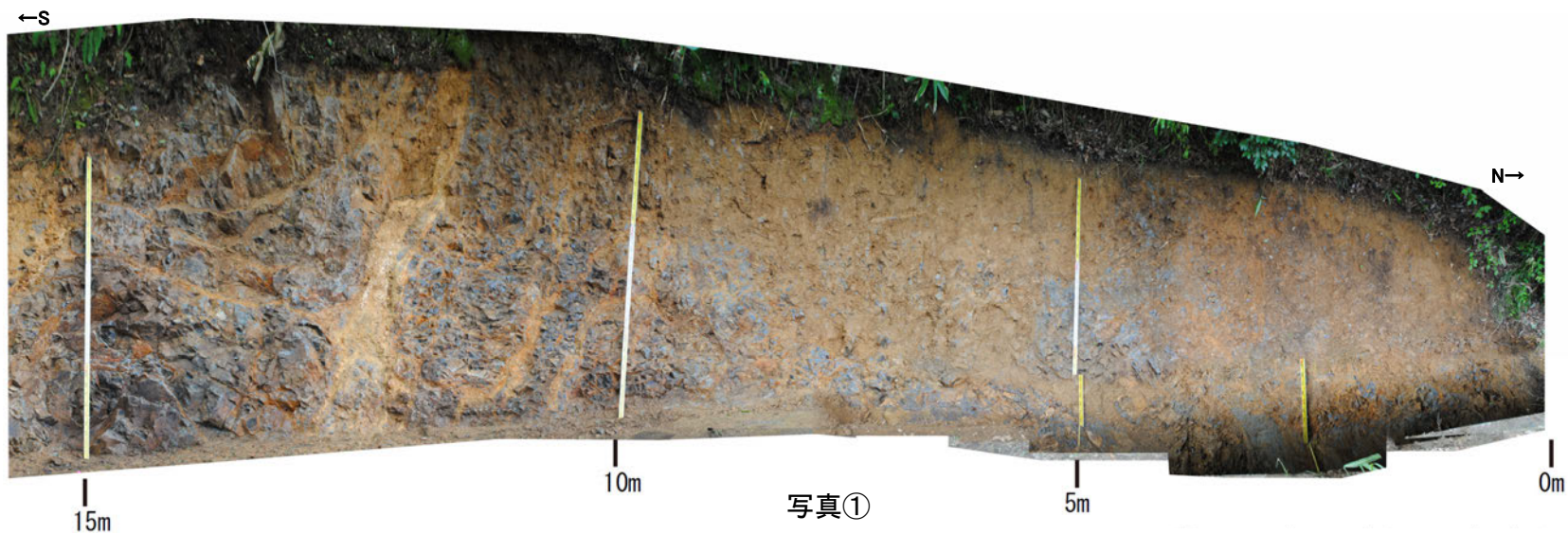
○断層の南方延長位置において、表土はぎ調査を実施した結果、穴水累層の安山岩が分布し、それは非破碎であり、断層は認められない。  
 ○全線の写真を次頁以降に示す。



青字は岩脈状の部分(火山砕屑岩)の走向・傾斜等を記載。  
 黒字は節理の走向・傾斜等を記載。

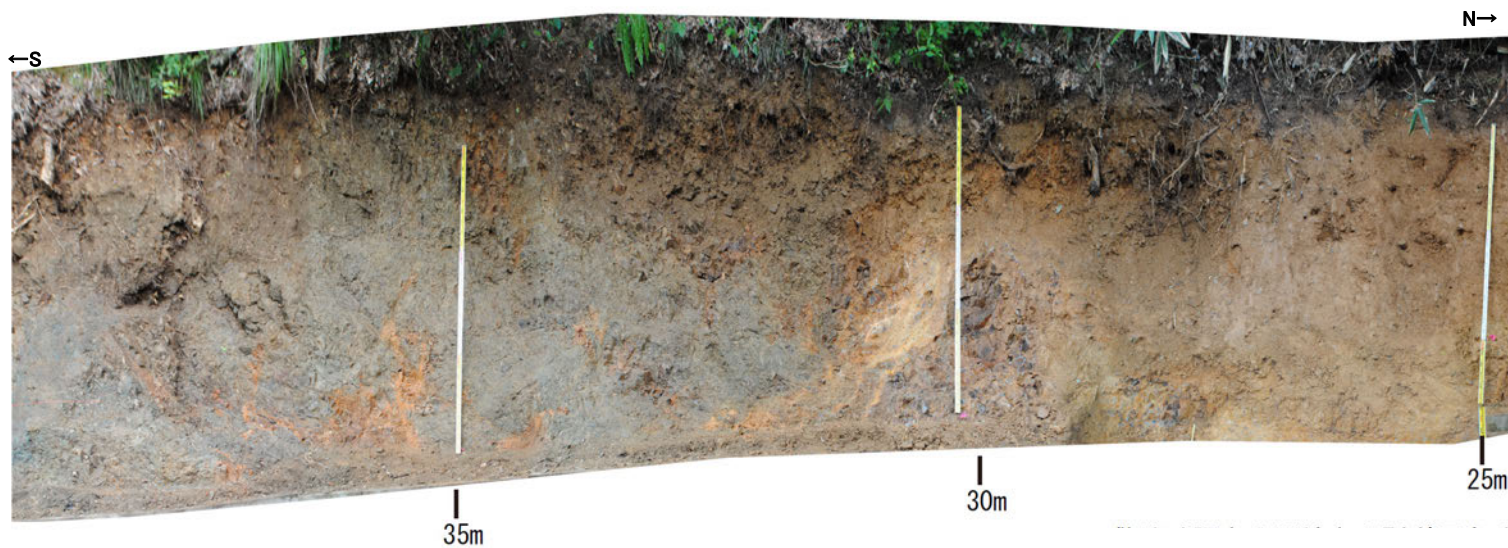


# 断層の南方延長 表土はぎ調査(ルートマップJ) 写真①～②

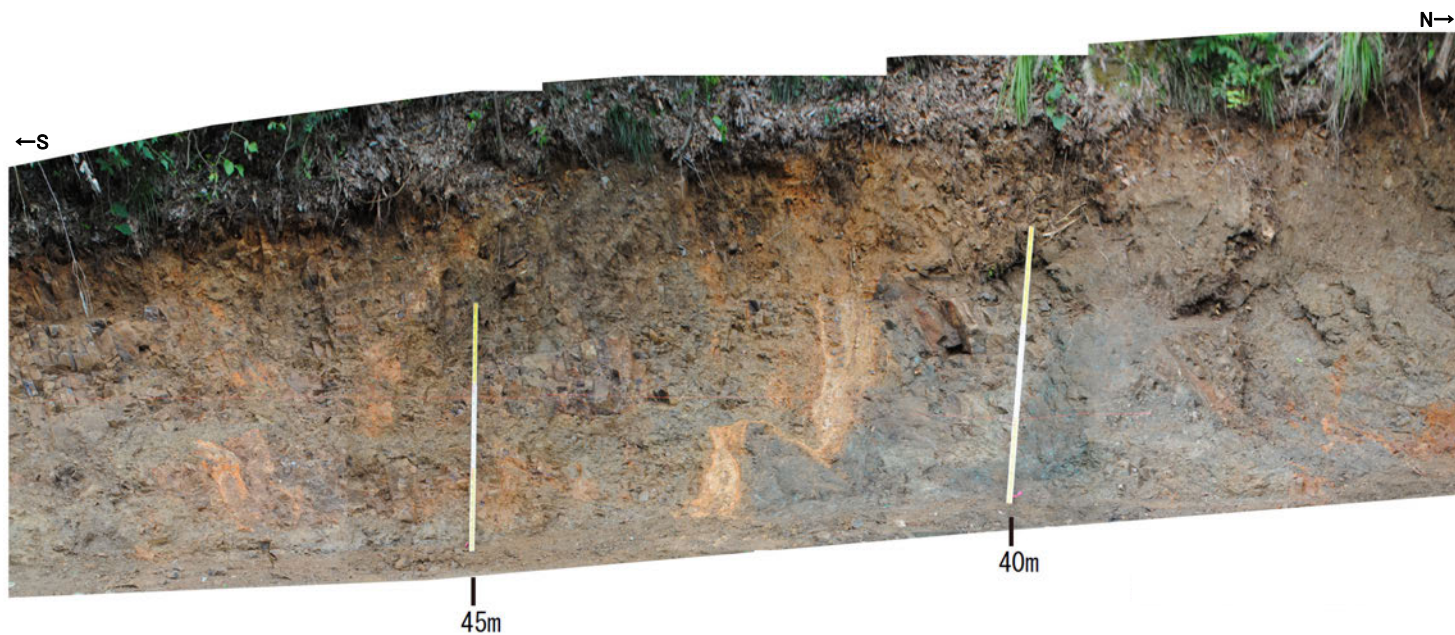




# 断層・南方延長 表土はぎ調査(ルートマップJ) 写真③～④



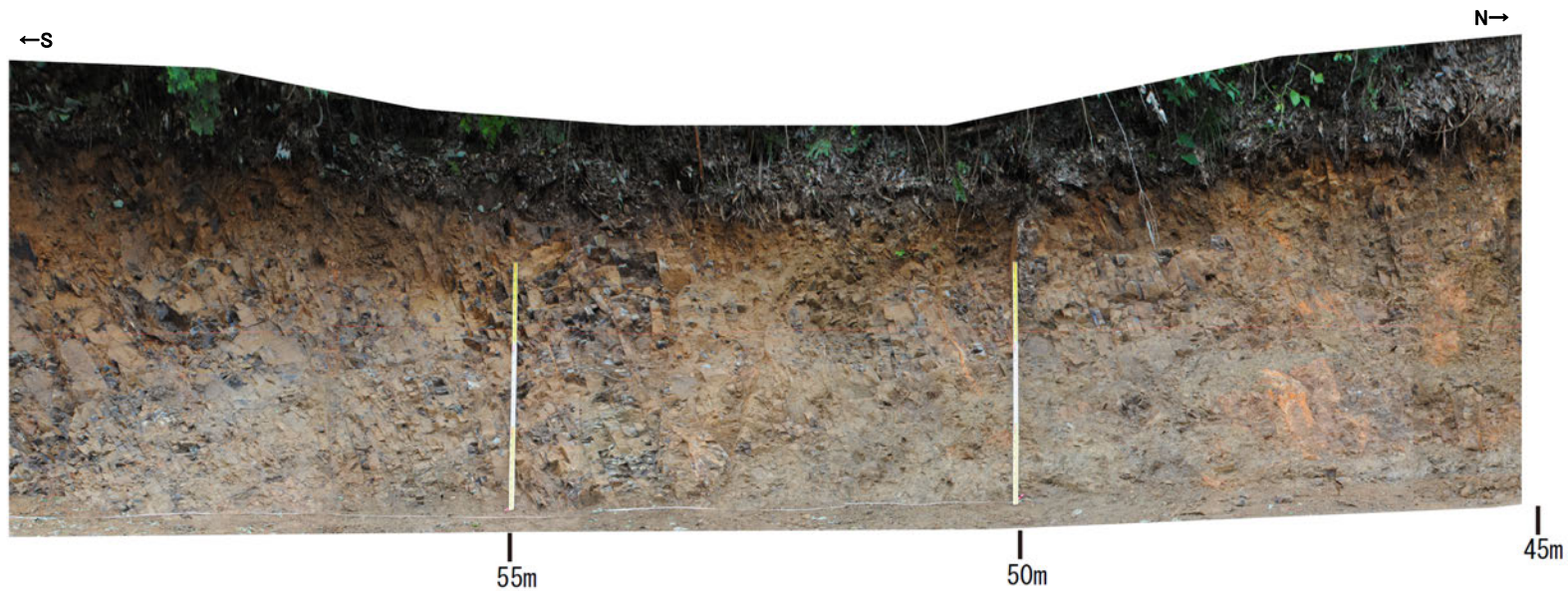
写真③



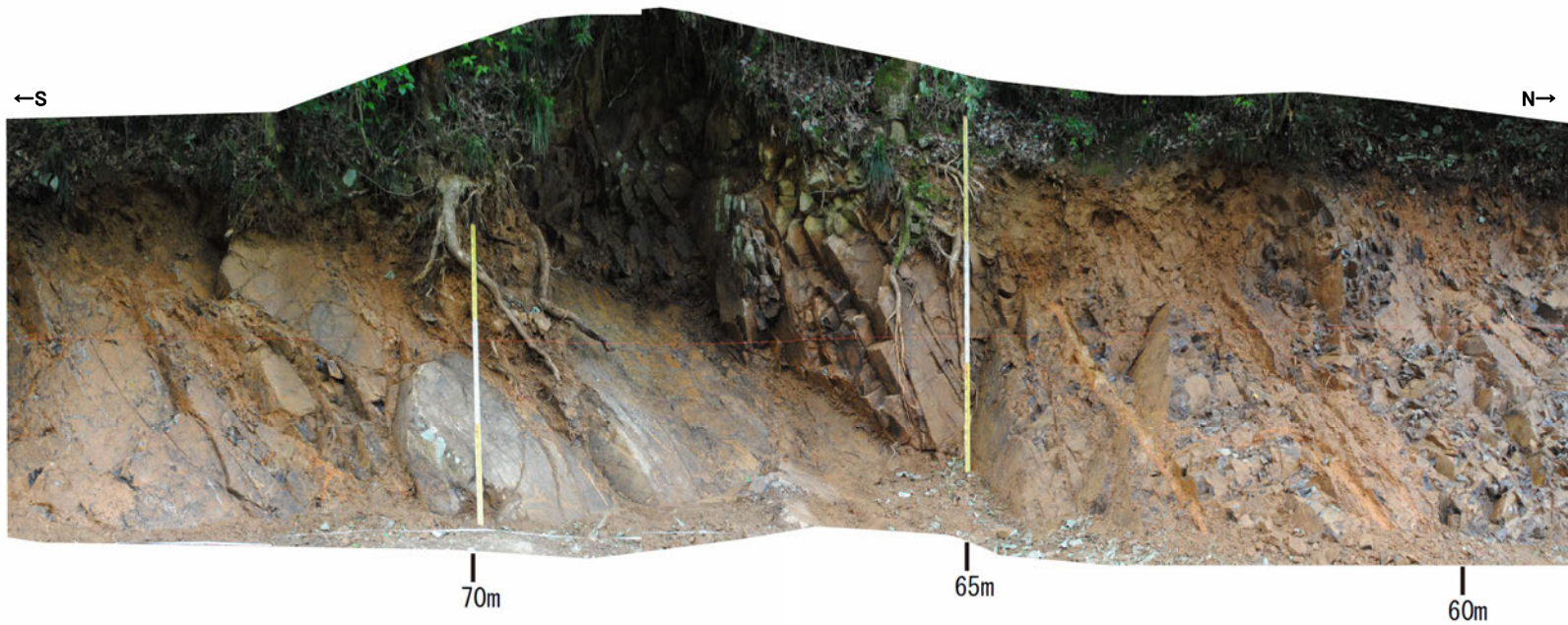
写真④



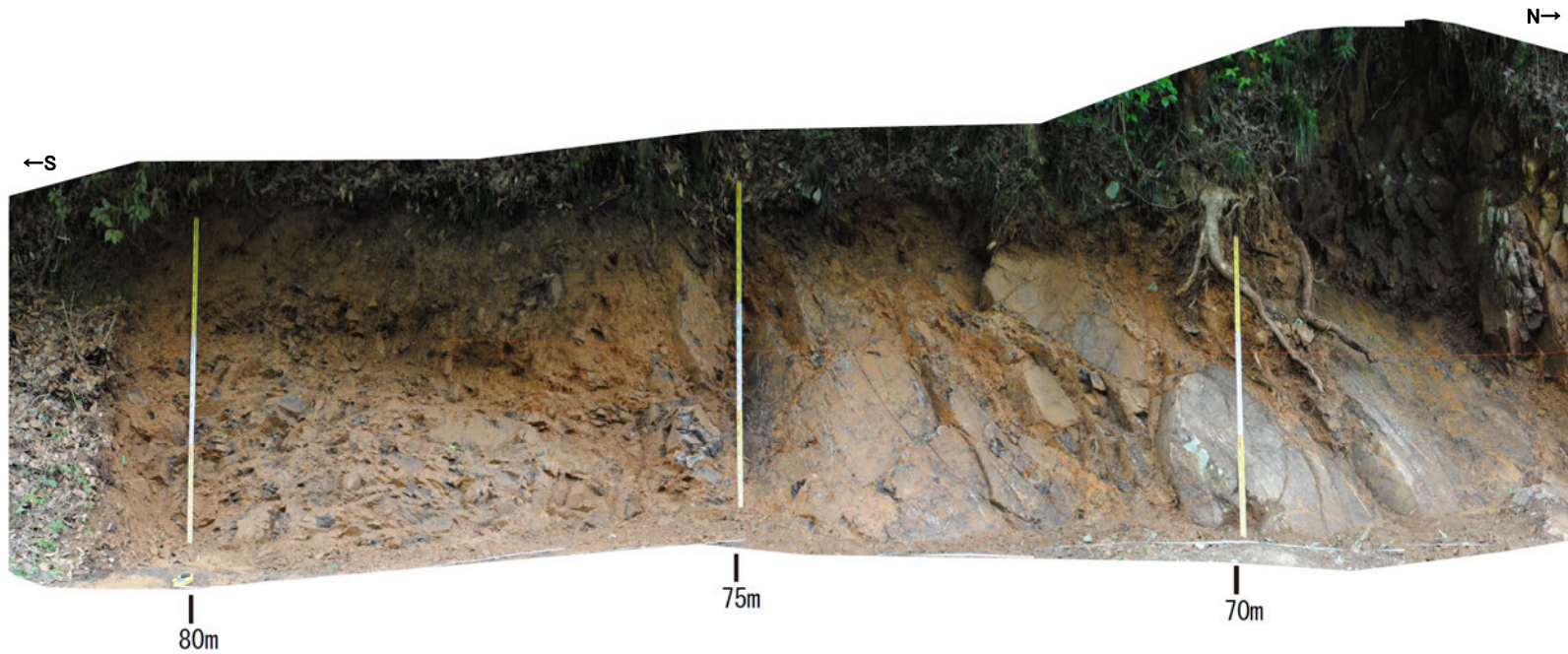
# 断層の南方延長 表土はぎ調査(ルートマップJ) 写真⑤～⑥



写真⑤



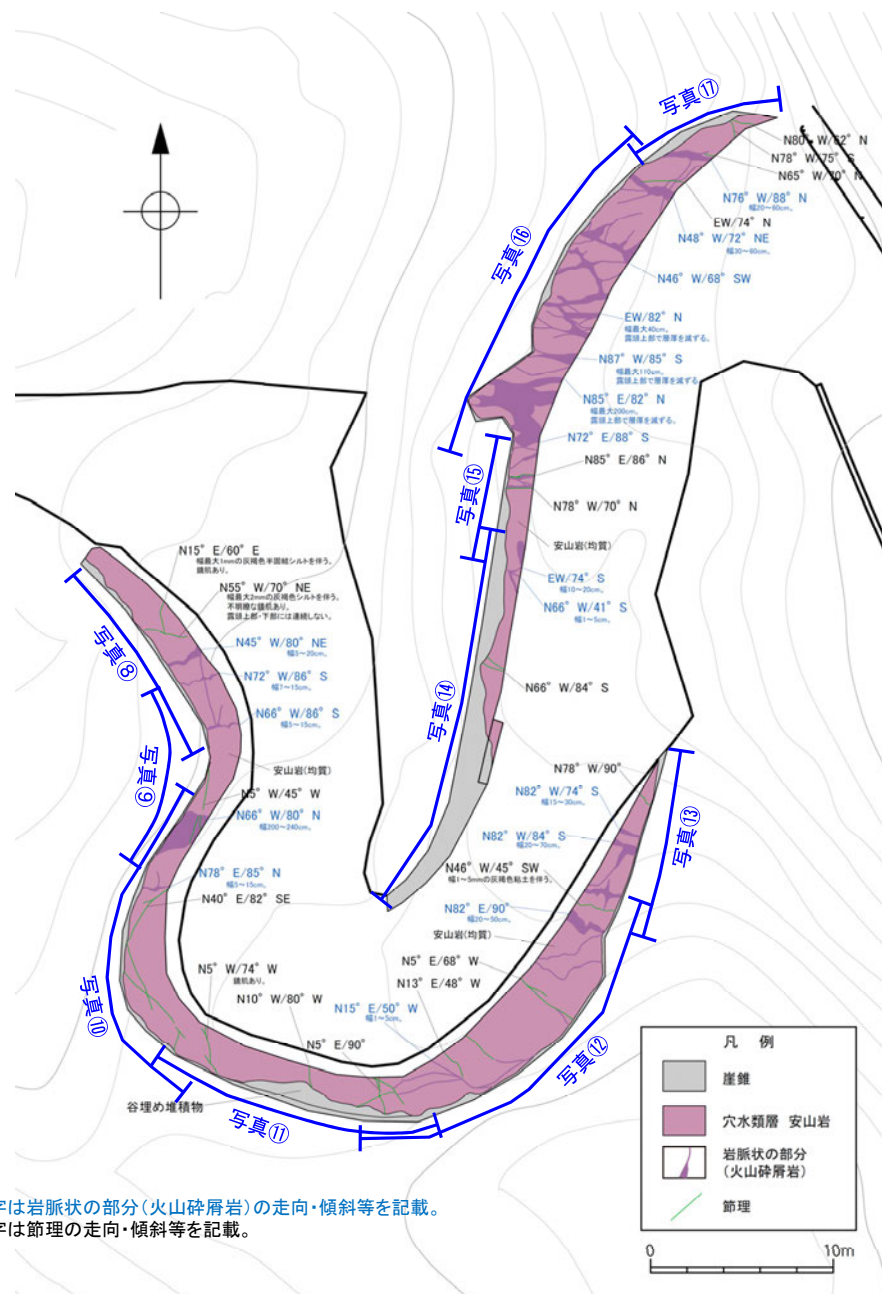
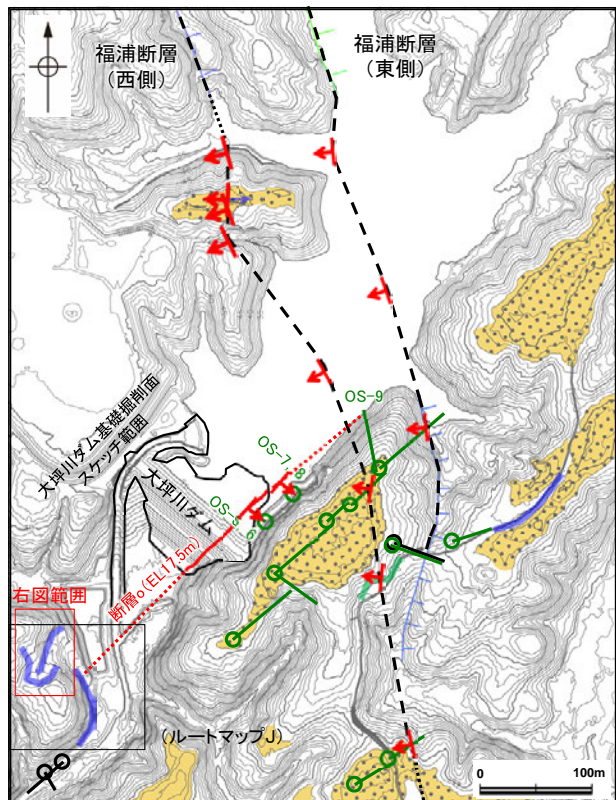
写真⑥



写真⑦

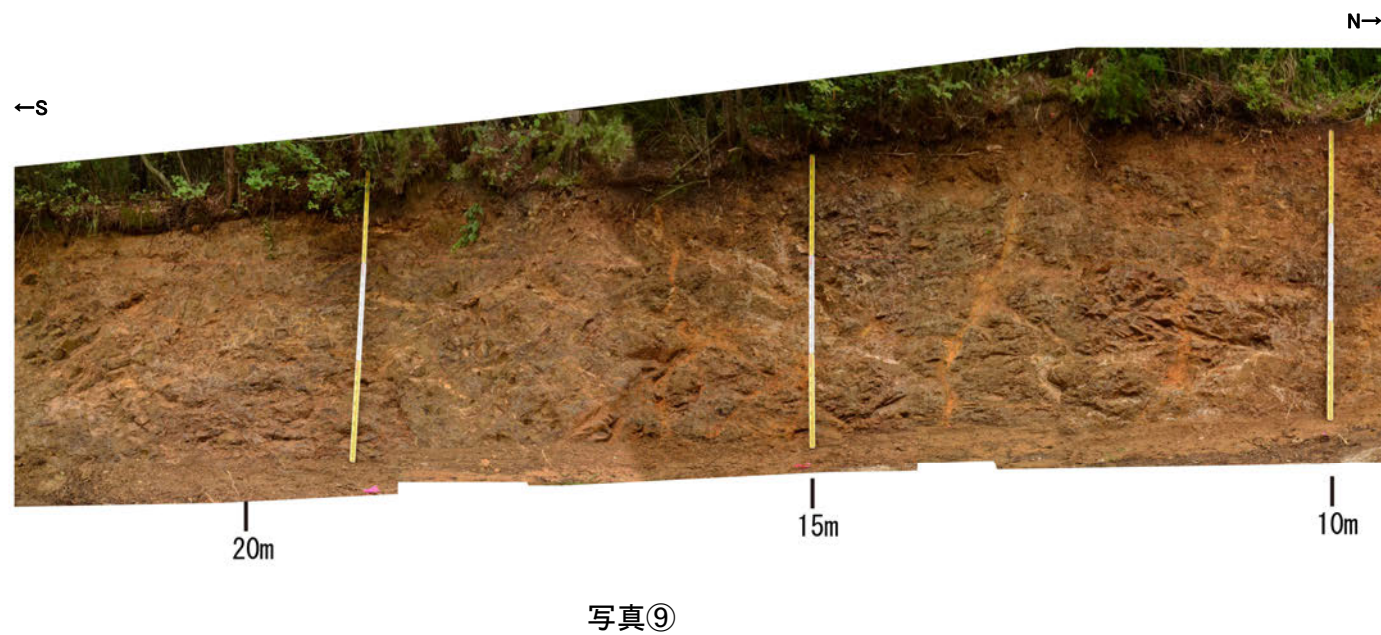
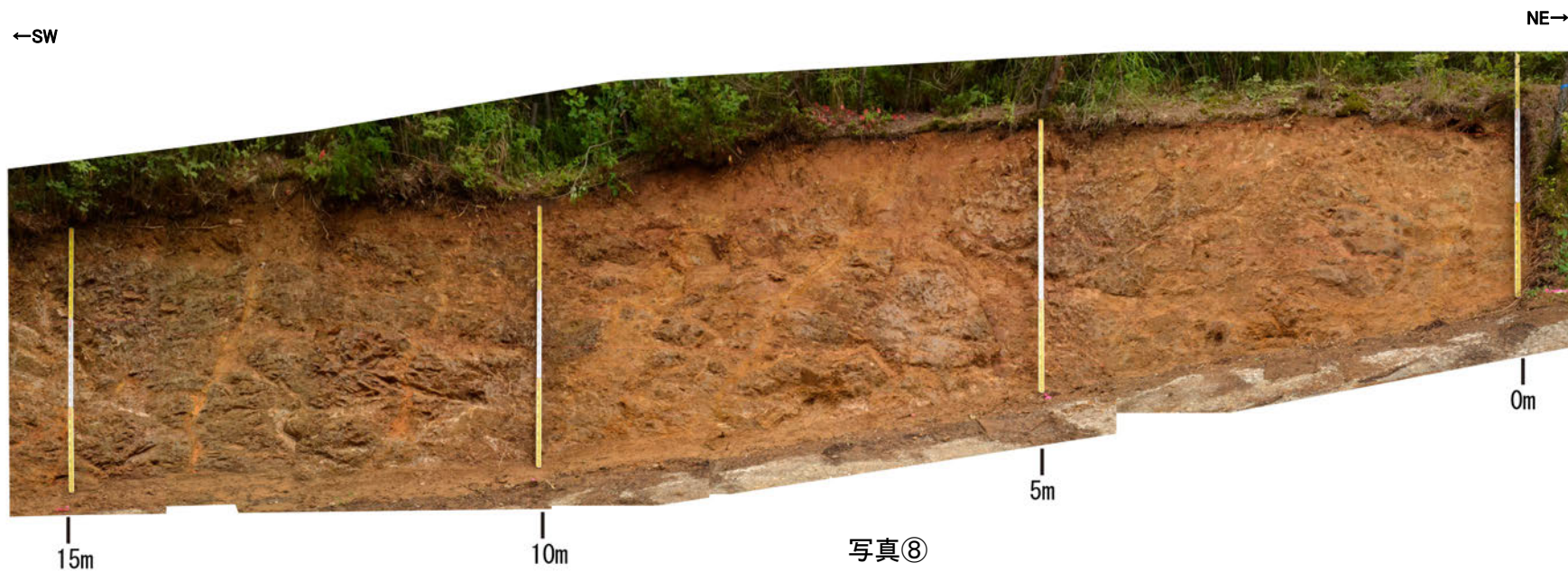


# 断層・南方延長 表土はぎ調査(ルートマップJ) 写真位置図



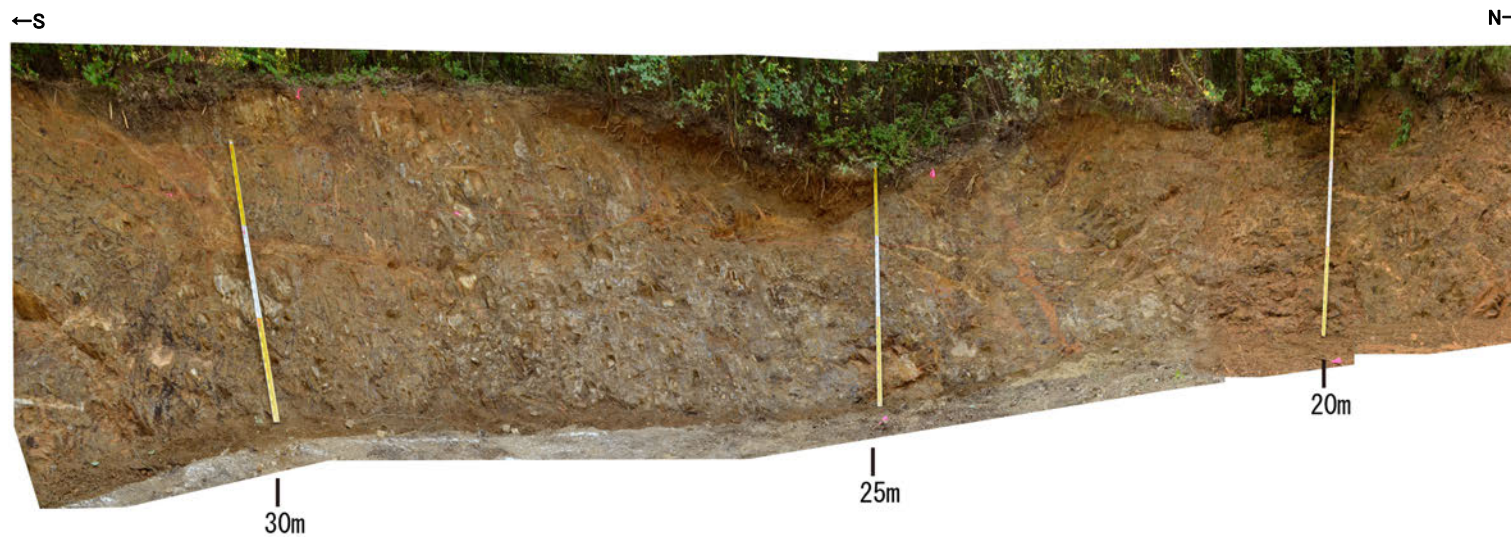
青字は岩脈状の部分(火山砕屑岩)の走向・傾斜等を記載。  
 黒字は節理の走向・傾斜等を記載。

# 断層南方延長 表土はぎ調査(ルートマップJ) 写真⑧~⑨

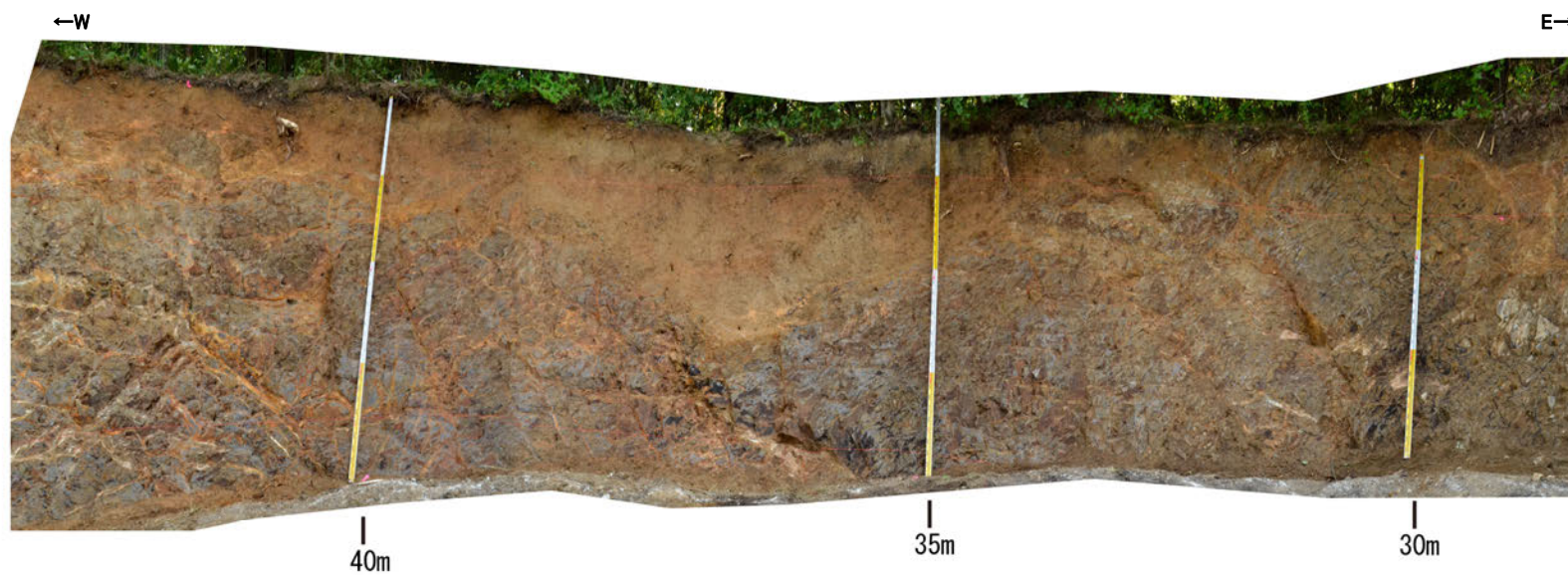




断層の南方延長 表土はぎ調査(ルートマップJ) 写真⑩～⑪



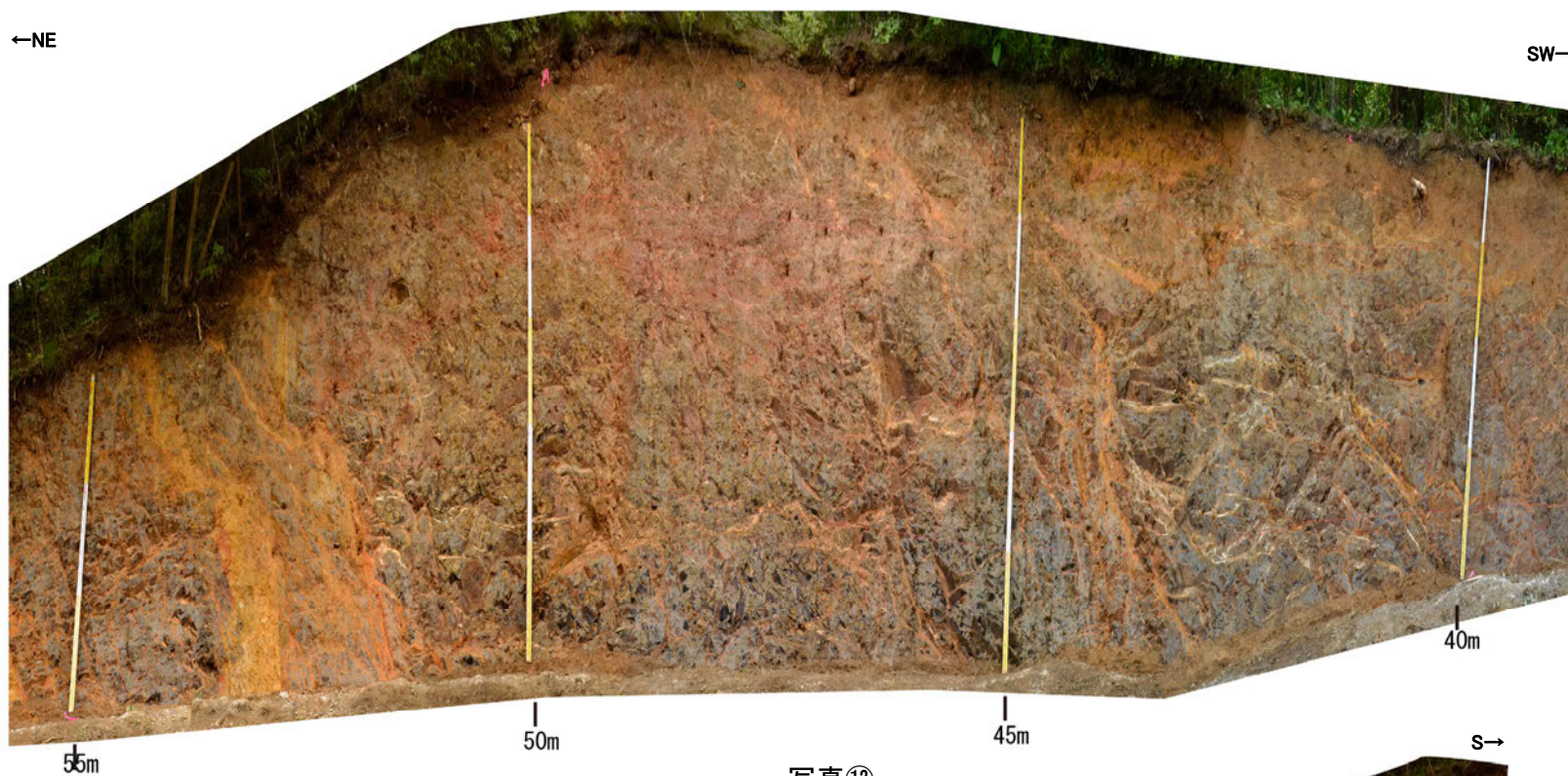
写真⑩



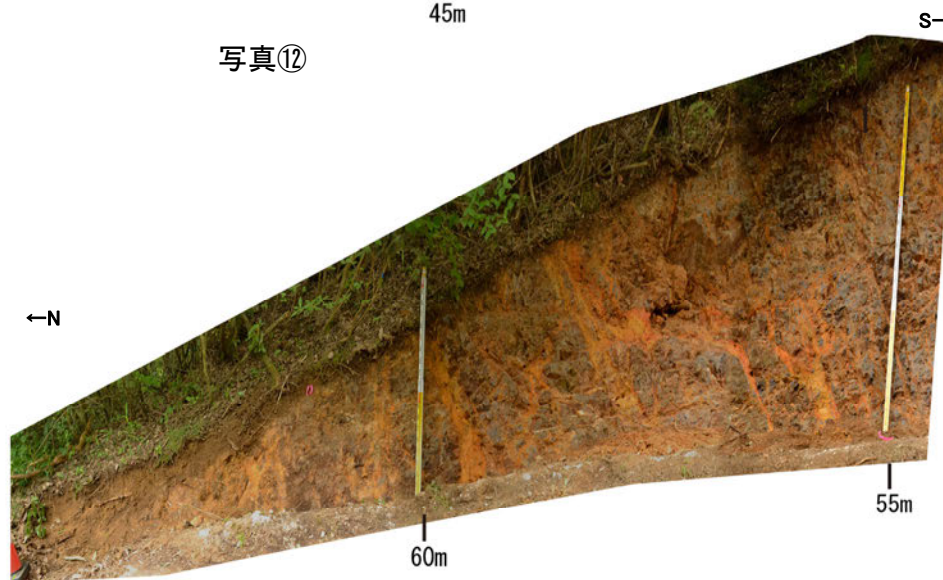
写真⑪



# 断層・南方延長 表土はぎ調査(ルートマップJ) 写真⑫～⑬



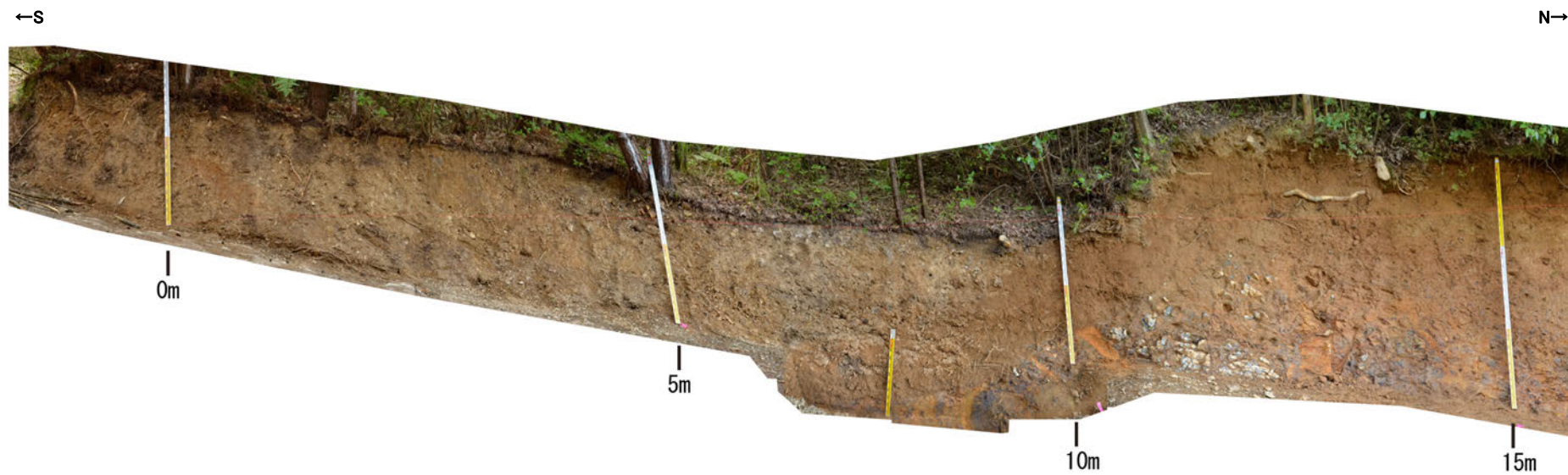
写真⑫



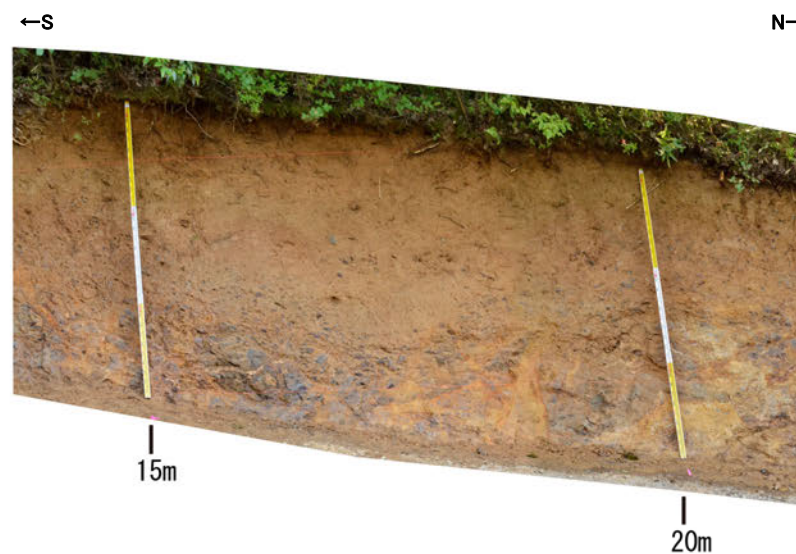
写真⑬



# 断層の南方延長 表土はぎ調査(ルートマップJ) 写真⑭～⑮

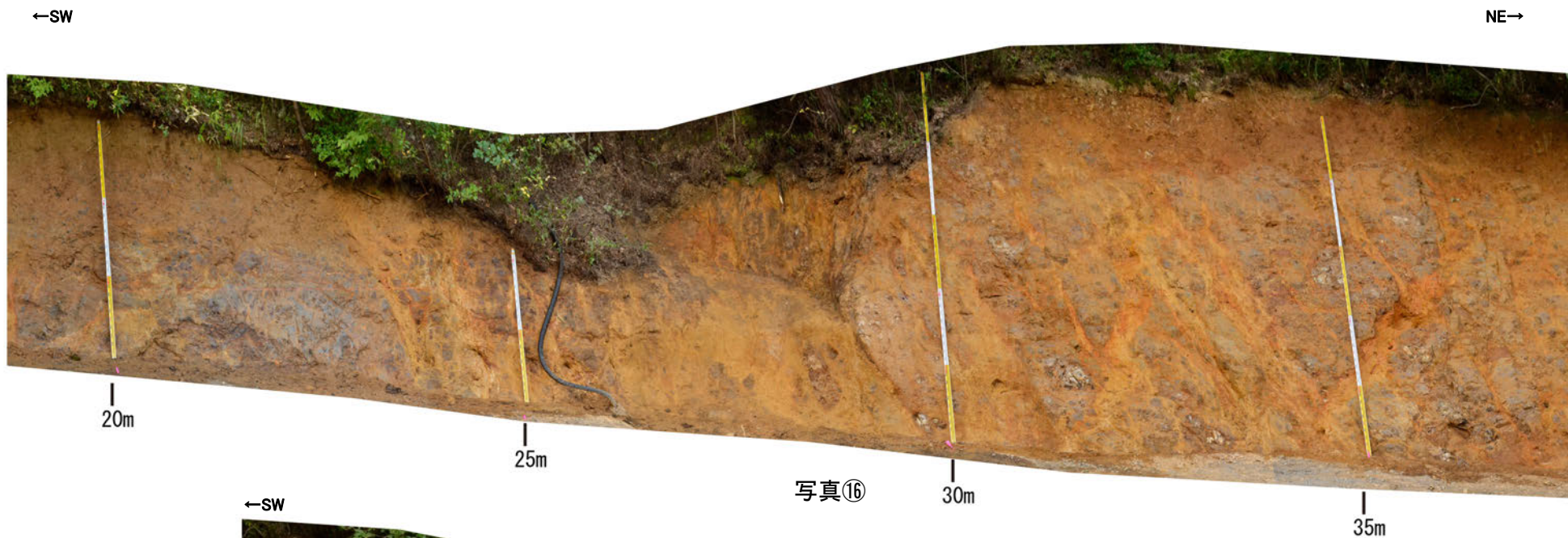


写真⑭

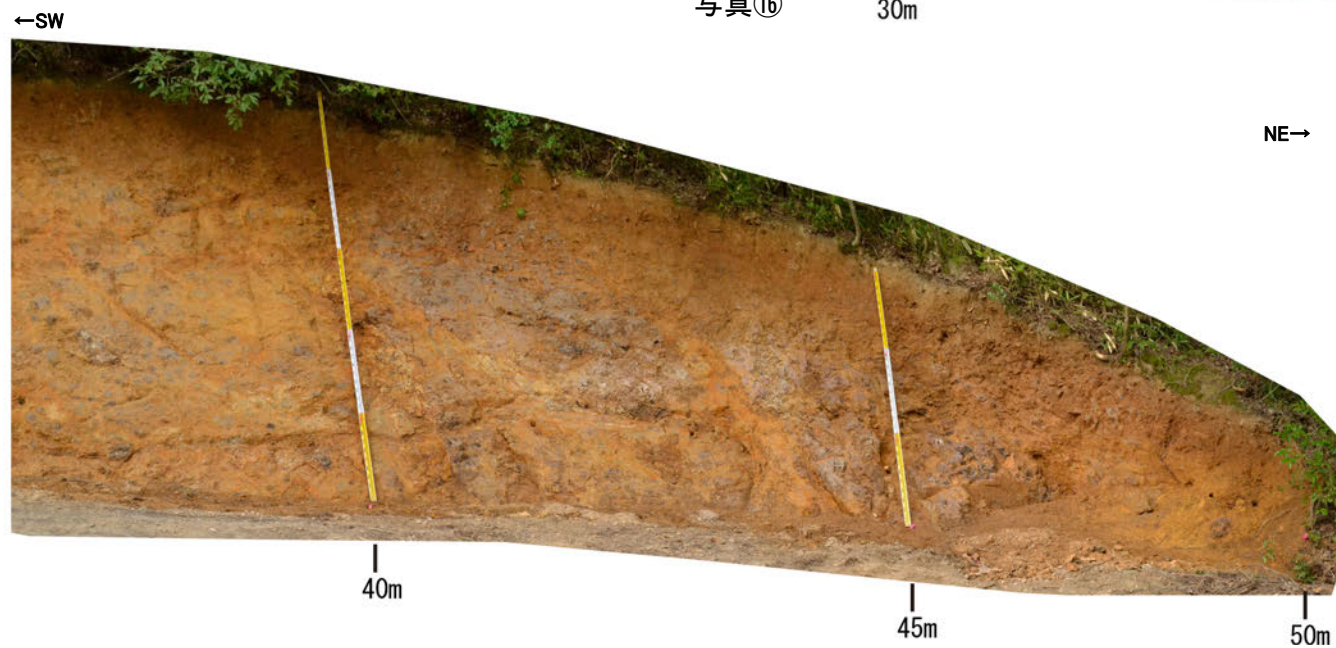


写真⑮

# 断層の南方延長 表土はぎ調査(ルートマップJ) 写真⑩~⑰



写真⑩



写真⑰



---

余白

# 参考文献

- 青木かおり・町田洋(2006):日本に分布する第四紀後期広域テフラの主元素組成— $K_2O-TiO_2$ 図によるテフラの識別, 地質調査研究報告, 57, 239-258.
- Bronk Ramsey, C(2009): Bayesian analysis of radiocarbon dates, Radiocarbon 51(1), 337-360.
- 古澤明・中村千怜(2009):石英に含まれるガラス包有物の主成分分析によるK-Tzの識別, 地質学雑誌, 115, 10, 544-547.
- 浜田昌明・野口猛雄・穴田文浩・野原幸嗣・宮内崇裕・渡辺和樹・山口弘幸・佐藤比呂志(2007):2007年能登半島地震に伴う地殻変動と能登半島の海成段丘, 東京大学地震研究所彙報, 82, 345-359.
- 服部貴志・浜田昌明・高山陶子・小野田敏・坂下学・山口弘幸・平松良浩(2014):古砂丘・古期扇状地に関する空中写真を活用したDEM解析による地形特性の検討, 地形, 35, 4.
- Heaton, T. J., Köhler P., Butzin, M., Bard, E., Reimer, R. W., Austin, W. E. N., Bronk Ramsey, C., Grootes, P. M., Hughen, A. K., Kromer, B., Reimer, P. J., Adkins, J., Burke, A., Cook, M. S., Olsen, J., Skinner, L. C.(2020): Marine20-The radiocarbon age calibration curves (0-50,000years cal BP), Radiocarbon, 62(4), 779-820.
- 池田安隆・今泉俊文・東郷正美・平川一臣・宮内崇裕・佐藤比呂志(2002):第四紀逆断層アトラス, 東京大学出版会.
- 今泉俊文・宮内崇裕・堤浩之・中田高(編)(2018):活断層詳細デジタルマップ[新編], 東京大学出版会.
- 井上卓彦・尾崎正紀・岡村行信(2010):能登半島北部域20万分の1海陸シームレス地質図及び断面図, 海陸シームレス地質情報集, 「能登半島北部沿岸域」, 数値地質図S-1, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 地震調査委員会(2005):邑知潟断層帯の長期評価について, 地震調査研究推進本部.
- 上嶋正人・木川栄一・駒澤正夫(2002):能登半島東方海底地質図 重力異常図・磁気異常図説明書, 海洋地質図, no.59(CD), 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 上嶋正人・石原丈実・木川栄一・駒澤正夫(2007):能登半島西方重力異常図・磁気異常図説明書, 海洋地質図, no.61(CD), 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 狩野謙一・村田明広(1998):構造地質学, 朝倉書店.
- 紮野義夫(1993):石川県地質誌新版・石川県地質図(10万分の1)説明書, 石川県・北陸地質研究所.
- 加藤碩一・杉山雄一(編)(1985):50万分の1活構造図「金沢」, 地質調査所.
- 活断層研究会(編)(1991):新編日本の活断層—分布図と資料—, 東京大学出版会.
- 小池一之・町田洋(編)(2001):日本の海成段丘アトラス, 東京大学出版会.
- 町田洋・新井房夫(2011):新編火山灰アトラス[日本列島とその周辺](第2刷), 東京大学出版会.
- 長橋良隆・佐藤孝子・竹下欣宏・田原敬治・公文富士夫(2007):長野県, 高野層ポーリングコア(TKN-2004)に挟在する広域テフラ層の層序と編年, 第四紀研究, 46-4, 305-325.
- 日本地形学連合(編)(2017):地形の辞典, 朝倉書店.
- 日本地質学会(編)(2006):日本地方地質誌4 中部地方, 朝倉書店.
- 野原幸嗣・野口猛雄・穴田文浩・浜田昌明・小野田敏・沼田洋一・山野芳樹・鈴木雄介・佐藤比呂志(2007):航空レーザ計測による2007年能登半島地震の地殻変動, 地震研究所彙報, 82, 321-331.
- 岡村行信(2002):20万分の1能登半島東方海底地質図及び同説明書, 海洋地質図, no.59(CD), 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 岡村行信(2007):20万分の1能登半島西方海底地質図及び同説明書, 海洋地質図, no.61(CD), 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 太田陽子・国土地理院地理調査部(1997):「能登半島」1:100,000, 地殻変動土地条件図, 国土地理院技術資料, D.1-No.347, 国土地理院.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター:活断層データベース <<https://gbank.gsj.jp/activefault/>>(参照2021-4-21).
- 佐々木俊法・後藤憲央・岩森暁如・原田暁之・市川清士・松島義章・佐藤武宏・柳田誠・杉森辰次・東田優記・重光泰宗・田中裕(2015):詳細な生物遺骸群集の観察に基づく若狭湾周辺における地震性地殻変動, 日本第四紀学会講演要旨集, 45, 17.
- 杉戸信彦・堤浩之(2010):1:25,000 都市圏活断層図, 邑知潟断層帯とその周辺「邑知潟」「邑知潟西南部」解説書, 国土地理院技術資料, D・1-No.561, 国土地理院.